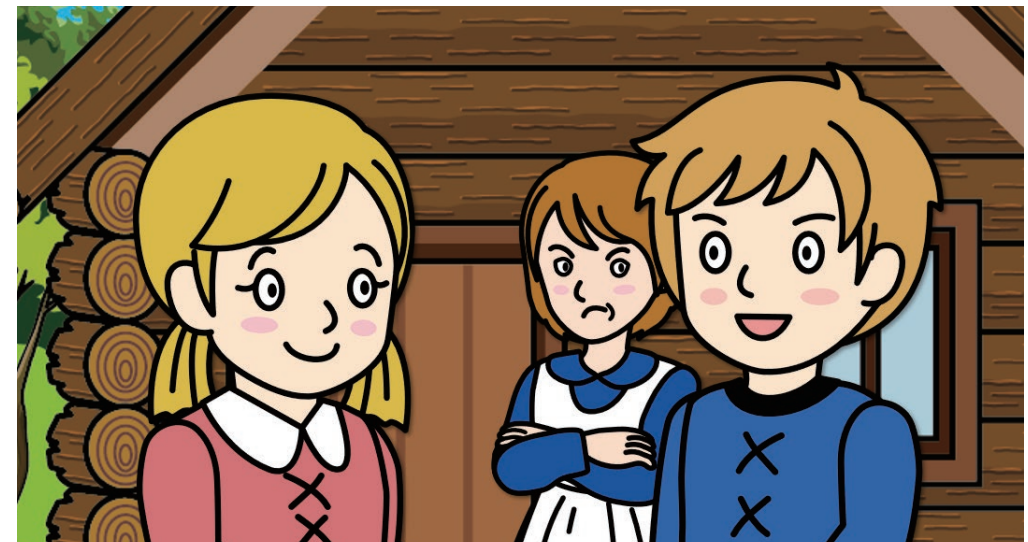
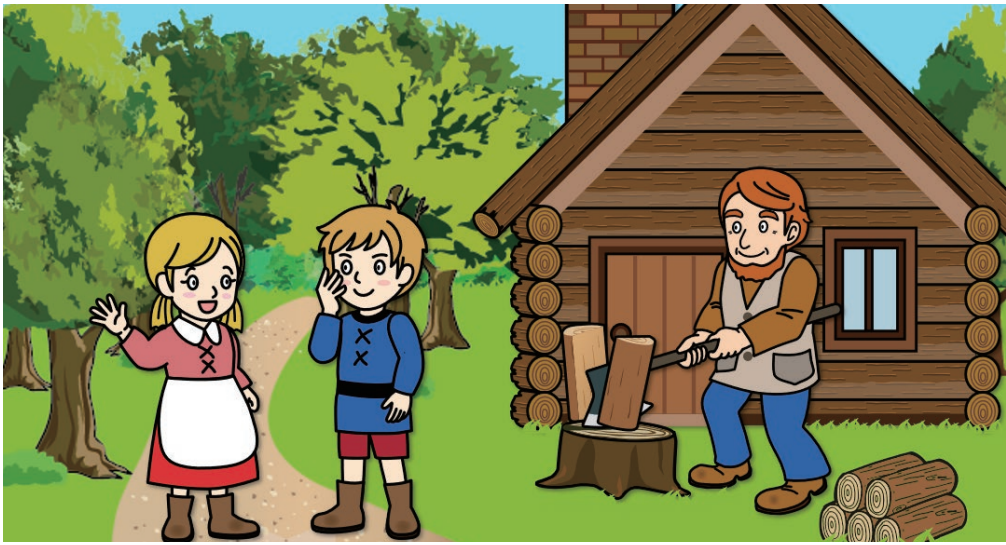




「ヘンゼル、グレーテル！ おとうさんを ゆるしておくれ。」  
おとうさんは、ふたりをしっかりと だきしめました。  
それから、3にんは なかよくしあわせに くらしました。



ふたりが ちいさいときにおかあさんが なくなっていたので、おとうさんは あたらしい おかあさんを つかえました。  
ところが、あたらしいおかあさんは、わがままで まずしいくらしが がまんできませんでした。  
おまけに、ヘンゼルとグレーテルのことも だいきらいでした。



むかしむかし、あるもりのはずれに まずしいきこりが  
 ヘンゼルとグレーテルという こどもと いっしょに くらしていました。  
 ふたりは とっても なかよでした。

1

幼児教育に役立つ動画を配信中！



**のびラボ!** 幼児教育・小学校受験対策プリント  
 ダウンロード販売サイト  
<https://www.nobilabo.com/>  
 ©Nobilabo 2021 無断転載や内容を改ざんしての配布、転売などをご遠慮ください。



しばらくして、いえには あした たべるものも なくなっていました。  
 おかあさんは、ヘンゼルとグレーテルを もりのなかに おきざりにしようと おとうさんに いいました。  
 おとうさんは はんたいしましたが、おかあさんは ききません。

3



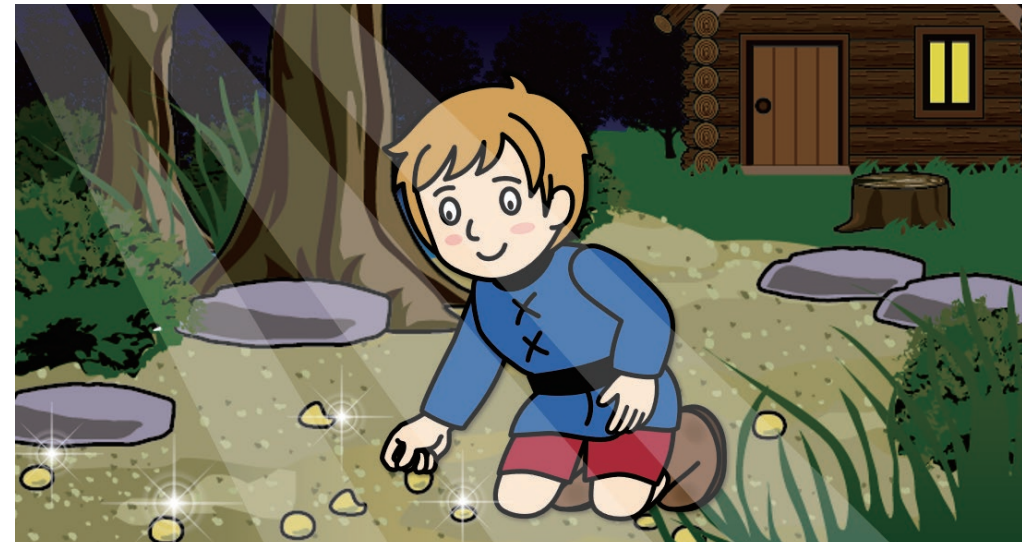
グレーテルは、おりから ヘンゼルをたすけだし、まじよのいえにあった しんじゅやほうせき、  
 たべものをもって もりから ぬけだしました。  
 いえでは、すでにおかあさんは でていって、おとうさんは ひとりぐらしを していました。  
 もりに おきざりにした こどもたちのことが しんばいで、まいにち もりのなかを さがしに していました。

20



「どうやって みるのか わからないわ。」グレートルは、ヘンゼルをたすけようと うそをつきました。  
「ええい、こうするんだよ!」  
かまどを のぞきこんだ まじよのせなかを、グレートルは ちからまかせに つぎとばしました。  
とうとう まじよは、かまどのなかで しんでしまいました。

19



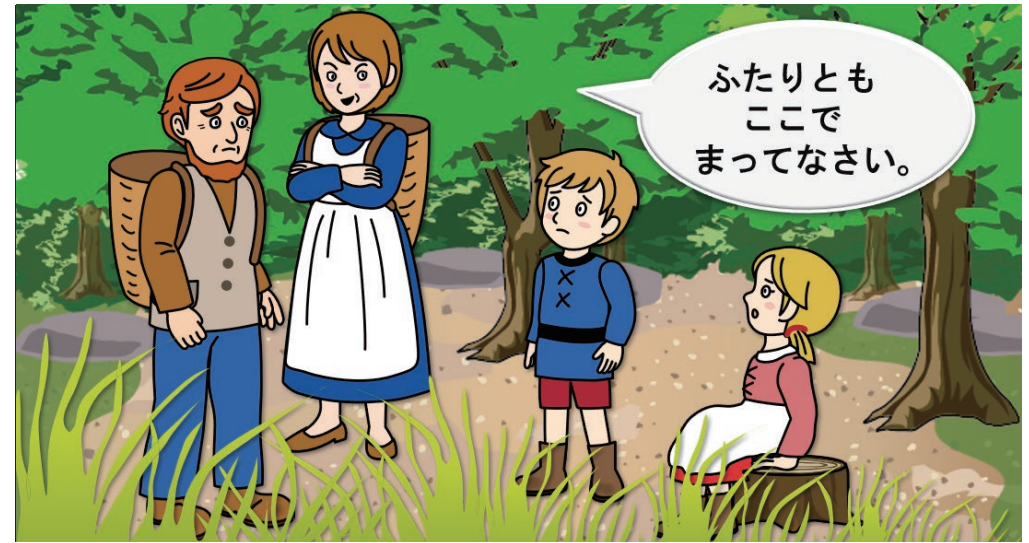
そのはなしを、こどもたちは すべて きてしまいました。  
ヘンゼルは、いえを ぬけだすと、ふくのポケットに こいしを できるだけ たくさん つめこみました。

4



まじよは とときどき、  
「そろそろ ふとったころだろう。ゆびをおだし。」  
と かくにんにぎます。  
ヘンゼルは、めのわるい まじよに、ゆびのかわりに たべのこしのほねを さわらせました。

17



もりの まんなかあたりまでくると、おかあさんが  
「もっと おくにいったるから、ここで まっていなさい。ここを うごいてはいけないよ。」  
と いいました。  
けれど、ふたりが かえってくることは ありませんでした。

6



つぎのひのあさ、ふたりは はやく おこされました。  
みんなで きのみを さがしに いくことになったのです。  
ヘンゼルは、みちに こいしを ひつつづつ おとしながら ついていきました。

5



いますぐ、  
くってやる！

ヘンゼルが いつまでたっても ふとらないので、まじよは かんかんに おこってしまいました。  
「もうまてない！ やせてても かまわないから いますぐ くってやる！  
グレーテル、かまどのひを みておいで。」

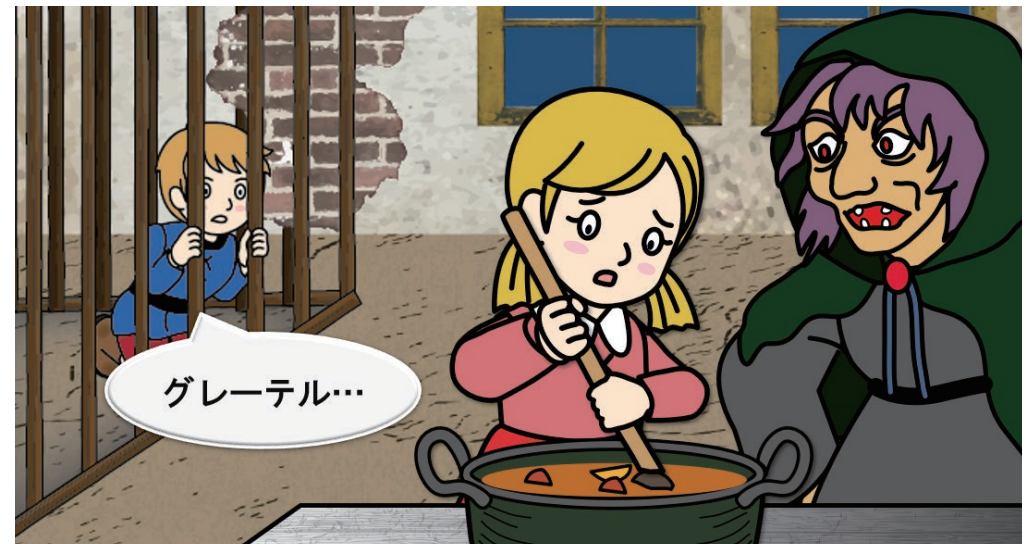
18



グレーテル。  
こっちだよ。

よるになり、あたりは まっくらになりました。  
でも、つぎのひかりで、めじるしにおとした こいしが ほうせきのように ひかっています。  
ヘンゼルは グレーテルをつれて、ぶじに いえにかえることが できました。

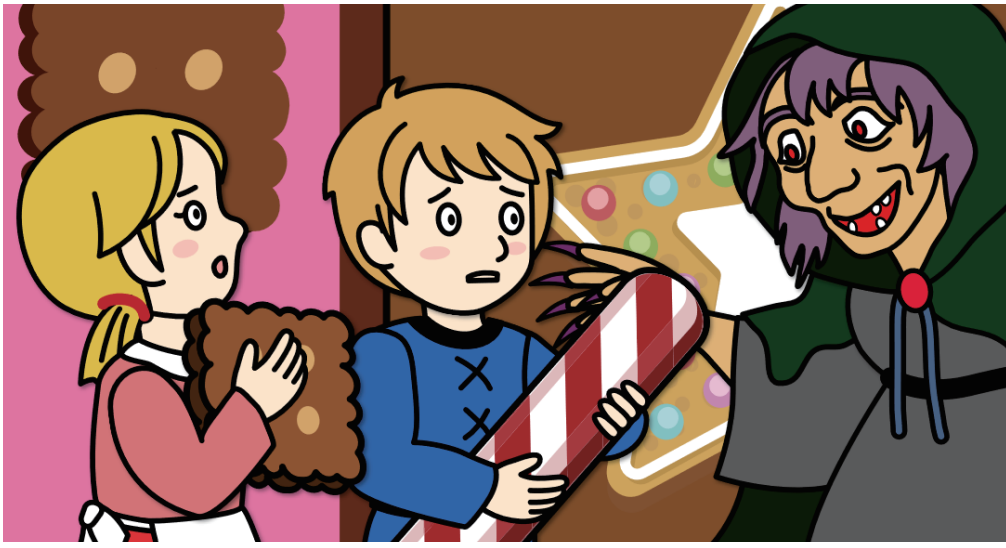
7



グレーテル…

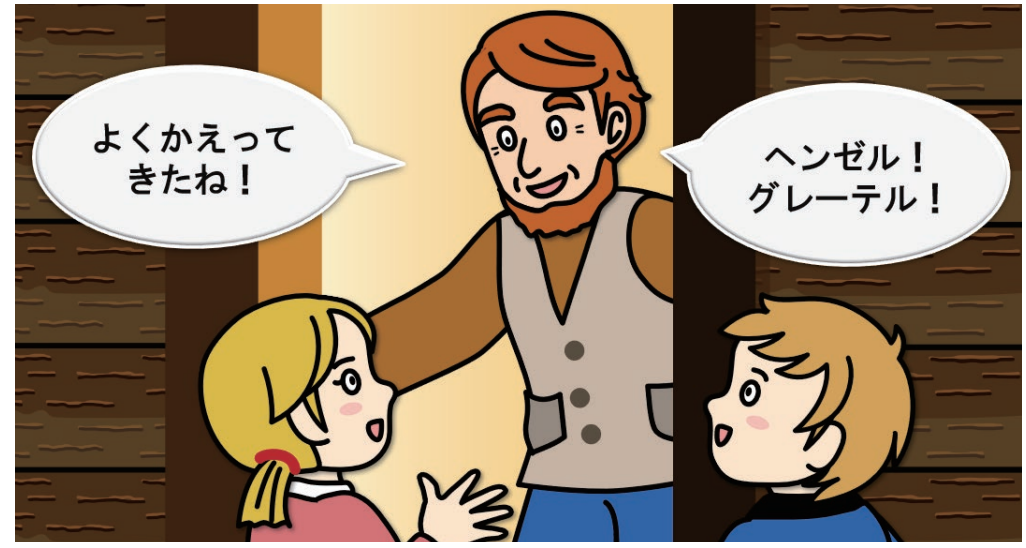
「さて、どちらから さぎにたべようか。しかし、こうやせていては まずそうだ。  
もっと ふとらせてから くってやろう。」  
まじよは、ヘンゼルを おりにとじこめ、グレーテルを こきつかいはじめました。  
おりのなかのヘンゼルは、まいにち ごちそうを たべさせられました。

16



すると、なかから おそろしいまじょが できました。  
「よくも わしの だいじないえを たべたな。」  
「ごめんさい。ぼくたち とっても おなかが すいていたんです。」  
ふたりが いくら あやまっても、まじょは ゆるしてくれません。

15



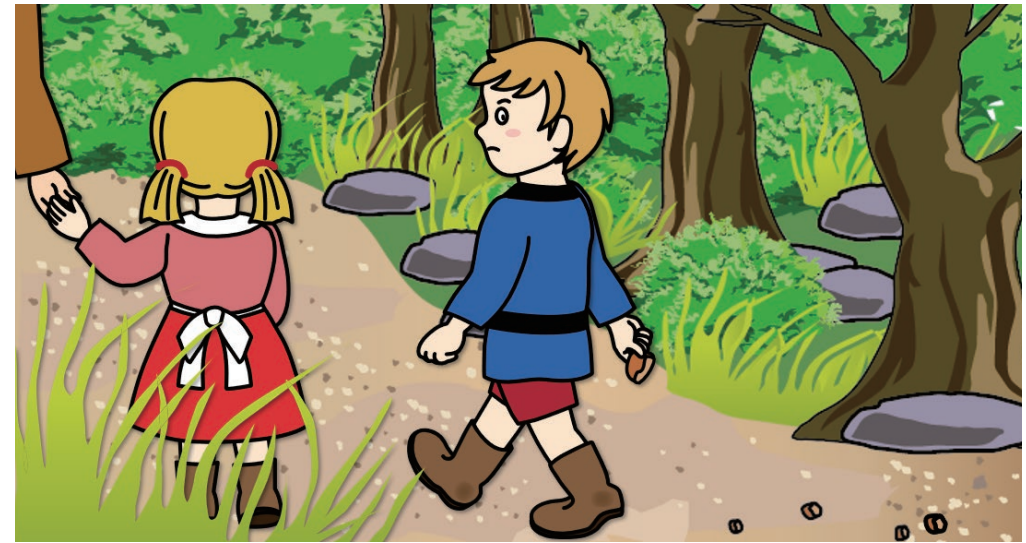
おとうさんは、こどもたちを もりに おきざりにしたことを こうかいていたので、  
とても よろこびました。  
しかし、おかあさんは まったく うれしくありません。

8



そのときです。  
ふたりのめのまえに、ぜんぶ おかしでできたいえが あらわれました。  
やねはビスケット、かべはあめ、ドアはチョコレートとクッキーです。

13



ヘンゼルは、こいしをひろうことが できなかったので パンくずを おとしながら あるきました。

10



おかさんは、ヘンゼルが こいしを ひろえないように へやに かぎをかけ、よくあさ、また きょうだいを もりへと つれていきました。

9



おなかが べこべこだった ヘンゼルとグレーテルは、むちゅうで おかしのいえを たべはじめました。

14



もりの おくふかくにくると、おとうさんと おかあさんは また ふたりを おきざりに しました。

11



やがて、よるになりました。めじるしのパンを たどって かえろうとしたら、パンくずが みあたりません。「ことりが たべてしまったんだ！」しかたなく、ふたりは もりのなかを さまよいつづけました。

12